（別紙4（2））

事業所名　グループホーム　オリーブ

作成日：　平成　28　年　3　月　28　日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	37	災害時の備蓄品がそろっていない。	食料・飲料水等必要物品の確認・整備を行い災害時に備えることができる。	2日分の飲料水・保存食、その他不足している物品をそろえる。また保管場所や保管期間等の管理についても整備を行う。	3ヶ月
2	37	避難訓練は事業所内だけでの実施にとどまっており、消防署の立ち合いや地域住民の参加までには至っていない。また災害時マニュアルも現状に即したものか見直しができていない。	避難訓練にて消防署の立ち合いや地域住民の参加を得て、災害時のスムーズな避難ができるようにする。訓練を通して現状にあった災害時マニュアルに改善する。	消防署に訓練時の立ち合いを依頼する。運営推進会議等で地域の方々へ訓練参加への呼びかけを行っていく。訓練実施後に現状に応じたマニュアルかの見直しを行う。	12ヶ月
3	6	ユニットの入口が常時、電子錠にて施錠されている。	安全を確保しつつ、電子錠を開錠することでご入居者に閉塞感を感じることなく過ごしていただくことができる。	心身状況の確認・勤務配置の工夫等を行い、ケア会議等で検討しながら開錠できる時間を作っていくことで、より開放的な雰囲気を感じて頂けるよう努める。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。
注）完成したら市町村及び評価機関に提出して下さい。